

# 主日礼拝

教会学校との合同礼拝

2026年5月10日 10時20分～

司式:  
奏楽:

## 「見ないで見る」

『創世記』では、アブラハムがソドムの町のために執り成しをする場面です。神がソドムとゴモラを罪の重さゆえに裁きを下そうとしておられることを知ったアブラハムは、正しい者まで悪人と共に滅ぼされることへの疑問を神に訴えます。彼は「正しい者を悪い者と共に滅ぼされるのですか」と問い、もし町に五十人の正しい者がいれば、全体を赦してほしいと願うと、神はそれを受け入れると答えられます。アブラハムはさらに四十五人、四十人、三十人、二十人、そして十人と人数を減らしながら願い出ますが、その都度神は、その人数の正しい者がいれば滅ぼさないと約束されます。アブラハムは自らを「塵や灰にすぎない私ですが」とへりくだりつつ、繰り返し願い出ます。その対話は、神の正義と憐れみの両面を示すと共に、アブラハムが執り成し祈るのを待っておられる神のお姿を浮き彫りにするのです。

『ヨハネによる福音書』では、主イエスが弟子たちに「しばらくすると、あなたがたは私を見なくなるが、またしばらくすると、私を見るようになる」と語り、別れと再会を予告なさいます。弟子たちはその意味を理解できずに戸惑いますが、主は彼らの疑問を見抜き、出産の例を挙げ、子が生まれると苦しみ喜びに変わるように「あなたがたは苦しみにさいなまれるが、その悲しみは喜びに変わる」と慰められます。それは再び主に会える喜びであり、その喜びは誰にも奪われないものとなるのです。またその日には、主の御名によって祈るなら、父は何でも与えてくださるので、喜びに満たされるとの事を約束されます。この箇所は、主の死と復活、昇天と聖霊降臨によってもたらされる、祈りの新しい恵みと喜びを告げているのです。

### 《神の招き》

前奏 『輝きのこの日』 G.F. カウフマン  
カーネーション奉献 教会学校

招詞 マルコによる福音書10章14節b～d  
賛美歌 18

### 《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り  
聖書 創世記18章23～33節 (旧約22頁)  
ヨハネによる福音書16章16～24節 (新約196頁)

子ども説教・教会学校奉唱  
交読詩編 詩編15編1～5節 (18頁)

賛美歌 540  
説教 「見ないで見る」 八木浩史牧師

祈禱  
賛美歌 546

### 《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条  
献金 献金当番  
祈禱  
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

### 《派遣》

頌栄 26  
祝福  
報告  
後奏

礼拝当番: (役員: ) 献金当番:  
音響: 映像: